



# 共育だより

～1学期の地域学校協働活動のとりくみ～

一中校区コーディネーター

R3. 7月

ありがとうございました

## ●放課後あそび隊：授業でのボランティア学習（1年生）と自主的なボランティア参加

5・6月、1年生は、総合的な学習の時間にあそび隊のボランティア学習を行いました。昨年はコロナのためできなかった授業でしたが、今年は1年生全員があそび隊の学習を通じて、誰かの役にたつ経験をすることができました。小学生とたった1時間遊ぶにも、ボランティアとして時間配分や声のかけ方など、自分で考え行動する場面があります。生徒の感想文からは、一中生に身につけてもらいたい力「自ら考え、自ら判断、決定し、自ら行動する力」が育まれる経験となったことが伝わってきて、嬉しく思いました。

部活動のない7月5日（月）には12名の一中ボランティアの参加があり、小学生は大喜び！ありがとうございました。



総合あそび隊での1年生の感想

- ・大変だけれど、行動力がつくと思う。
- ・またあそび隊に行って小学生の笑顔を見たい。

## ●赤ちゃん・お母さんと触れ合おう：お母さんお父さんの思いにも触れて 2年生

\*地域と共につくる地域学校協働プログラム(学習活動)として、この学習にはこんなねらいがあります！

- ①キャリア形成：少子化が進み、家庭や地域の中で乳幼児と接する機会の少ない中学生が、実際に赤ちゃんに触れ合うことで、赤ちゃんのかわいさを実感し、乳幼児に関心を持つ。更に将来に向けて自分の子育てを楽しみにできたり、保育士等職業選びに役立てたりする。
- ②自尊感情・感謝の気持ちを深める。
- ③コミュニケーション力
- ④子育て支援のネットワークを知る。
- ⑤育児ストレス軽減、虐待防止につながる赤ちゃん理解：赤ちゃんが泣くことに対して、おおらかに見守り寄り添うお母さんの姿やお話を通じて、生理的な欲求や発達に関わる赤ちゃんの泣きに対する認識を肯定的なものに近づけ、育児ストレス、虐待の予防等につなげる。

\*感染予防対策を厳重にして無事にこの授業を終えることができました！一中、そして参加くださった赤ちゃんとお母さん、お父さん、ボランティアスタッフのご理解とご協力に感謝申し上げます。

\*2008年よりはじまったこの取り組みに、嬉しいことができました！

- ・14年前、この授業に参加した赤ちゃんが、中学2年生として参加しました。
- ・2年生の時にこの授業に参加した生徒が、今度はお母さんになって赤ちゃんと共に参加しました。

\*素敵な感想が沢山ありました。2年生の感性に感動！

- ・赤ちゃんは一人の力では育てられないので、いろいろな人の協力が必要なんだと思いました。
- ・今日の体験で赤ちゃんの第一印象が変わりました。とても可愛かったです。「ほしいなあ」という気持ちが少しできました。
- ・赤ちゃんが笑顔になると自然に周りの人達も笑顔になっていました。



たくさんの生徒たちが、赤ちゃんとも目を合わせてることができました。